

# 筑後川の恵みを未来へつなぐ

## ご存知ですか？上下水道部の役割

上水 下水

水道：筑後川の水を安全・安心でおいしい水に浄化し、皆様へお届けしています。

◆◆久留米市の水道◆◆  
 ・給水開始……………昭和5年  
 ・給水人口……………266,632人  
 ・普及率……………93.0%  
 平成24年度末現在

**太郎原取水場**  
 筑後川の水の汚れ等を取り除くために活性炭をいれ、ポンプを使って、浄水場へ送水します。

**浄水管理センター(放光寺浄水場)**  
 様々な設備を使って、水の濁りを取り除いたり、殺菌したりします。厳しい検査を経て、皆様のご家庭に届けています。この水は、ポンプを使って、配水池へ送水されます。

**配水池**  
 出来上がった水を溜めて、皆様のご家庭へ

私たちは、一人一日当たり約300ℓの水を使用しています。自然の恵みを大切に使いましょう。

下水道：汚水をきれいな水に処理して、川に戻しています。

### 浄化センター

流れてきた汚水は、ゴミや砂を取り除いた後、沈殿と微生物の働きを利用してきれいな水にします。最後に滅菌し、安全な水にして河川に放流します。

河川に放流する水の水質については、法律で基準が定められており、基準値以下の数値で放流しなければなりません。その汚れの程度を表すものが生物化学的酸素要求量(BOD)で、基準値は、「15mg/l」です。

久留米市の平成24年度BOD数値  
 中央浄化センター……………4.3 mg/l  
 南部浄化センター……………3.5 mg/l  
 田主丸浄化センター……………1.1 mg/l

◆◆久留米市の下水道◆◆  
 ・供用開始……………昭和47年  
 ・処理区域内人口……………223,287人  
 ・普及率……………73.2%  
 平成24年度末現在



沈砂池



滅菌設備



細菌検査



臭気検査

## 久留米の水道水が 訳 がある。



久留米の水道水は、どうしておいしいのですか？

久留米市の水道水は、筑後川の豊かな水から作られているため、軟水(硬度40~55ミリグラム/リットル)で適度にミネラル分が含まれています。さらに、活性炭を使った浄水処理を行うことにより、おいしい水道水をお届けしています。

H24年度水質検査結果(抜粋)

項目	単位	水質基準値	年間平均値
一般細菌	個/ミリリットル	100以下	0
大腸菌	(-)	検出されないこと	不検出
総トリハロメタン	ミリグラム/リットル	0.1以下	0.020
残留塩素	ミリグラム/リットル	0.1~1.0	0.5
硬度	ミリグラム/リットル	300以下	43
pH値	(-)	5.8~8.6	7.6
有機物質	ミリグラム/リットル	3	0.5

上流域の森林によってつくられる筑後川の豊かな水。企業局では、水源となる大分県日田市の植樹活動にも参加し、きれいな筑後川の保全に努めています。



## 下水道資源の有効利用を行っています。



### さまざまなエコ(eco)への取組み

下水処理の過程で発生した汚泥を消化槽に入れて発酵させることで、メタンを主成分とした消化ガスが発生します。この消化ガスを利用してマイクロガスタービン発電機を回し、24時間発電しています。

また、処理水の落水エネルギーを利用した水力発電や太陽光エネルギーを利用したソーラー発電により、場内の消費電力の一部をまかなっています。



メタンガス

ガスタンク

消化槽

### ソーラー発電



### マイクロ水力発電



ガスを有効利用

熱利用

消化ガス発電機

### 発電

年間3,000万円の電気代削減  
 処理場の電力の約4割!!  
 一般家庭の700軒分相当の電力削減

杉の木約9万本分のCO2の削減

### 消化ガス発電